

第 148 回 番組審議会議事録

株式会社エフエムしみず

日 時 令和 3 年 3 月開催予定だったがコロナ対策で書面審議
審議委員 角替弘志委員長、望月紀久朗委員、小堺昭宏委員、伊藤公一委員、水野仁志委員、
大塚 泰委員 6 名
エフエムしみず出席者 釜下賢一郎、佐野勝美、是永真由子
審議対象番組

今回の番組審議会は、来年度開局 25 周年の節目の年を迎えるエフエムしみずの
開局記念事業並びに特別番組、社として新たに取組む企画等を審議対象としました。

<今回審議>

エフエムしみずが開局したのは 1996 年 6 月 2 日(日)でした。前年の 1995 年 1 月 17 日、
阪神淡路大震災が発生し、自然災害の怖さを震撼させた出来事でした。当時、静岡県は
東海大地震の発生が懸念され、官民一体となつての防災・減災対策を講じてきました。
エフエムしみずへの大きな期待のひとつが防災情報の発信です。一方、経営的には如何に
市民に親しまれる放送局に成長する為には聴かれる放送局として日々の番組内容の向上は
必定です。双方のバランスを取りながらクライアントや市民、株主等の支援を頂きながら
25 年を迎えようとしています。
今回の 25 周年では、これまでの感謝と今後社として取組むべき課題解決に向けての啓発
を番組等を通じて行っていきます。
企画内容は次ページを参照して下さい。

審議内容は、本年 6 月に開局 25 周年を迎える節目の年度に、開局記念事業並びに、特別番組
について、新たに取組む企画等について「開局 25 周年記念企画書」を作成し、内容について、
審議していただきました。(別紙資料 開局 25 周年記念企画内容)

角替委員長

放送を始めて四半世紀経ったことに深い感慨を覚えます。開局 25 周年の開局記念事業並びに特別
番組の企画を是非、積極的に進めて頂きたいと思います。

<今回審議>の説明文にもありますように、阪神淡路大震災の翌年、東海大地震説に対応して県
全体で、防災・減災対策に積極的に取組んでいる中で本局は開設しており、今回の企画において
も、予想される南海トラフの地震を含め自然災害に備えた取組みを SDG s の中心的な課題とし
て取り上げて頂きたいと思います。清水も昭和 10(1935)年の大谷地震(静岡地震)、昭和
19(1944)年の東南海地震、昭和 49(1974)年の七夕豪雨で大きな災害を被りました。私自身この三

つの災害(昭和 20 年の大空襲による戦災を含めれば四つ)を体験しており、今でも怖かったことを思い出します。

① ～⑥の企画、バランスがとれており、いずれもよい企画だと思います。ただ、時間が余りないなかで準備を進めなければならず、大変だと思いますが、頑張ってください。

また、以下の事項、検討して頂ければ幸いです。

① の「Thanksgiving Fes」の表示は「Thanksgiving Fes・感謝祭(又は 感謝の集い)」

② の「Together to Tomorrow」の表示は「Together to Tomorrow・明日に向かって 共に」というように日本語の表示も併記したらどうでしょうか。

なお、特別番組の中では、上記のように、「自然災害と持続可能な開発」も主なテーマの一つとして取上げて頂きたいと思っています。

③、④、⑤、⑥ではエフエムしみずの番組が「日本一高く美しい富士山と日本一深い水深の駿湾に開かれた清水港を一望する放送局のスタジオ」から送信されていることを強調したメッセージをふんだんに取り入れてもらえればと思っております。エフエムしみずのイメージを高めるために。

(追伸)

私どもで役立つことがあれば、どんなことでもお手伝いしたいと思いますので、遠慮なくお申し付け下さい。

望月委員

開局 25 周年記念企画に関する意見/ 開局 25 周年企画に対する意見として

先ず開局 25 周年おめでとうございます。

さて、開局当時はコミュニティ FM 局でしたが最近では清水エスパルスネタを基にサイマルラジオやらネットを巧みに活用して国内、海外にもリスナーを確保されております。ある意味コミュニティ FM 局の 1 つのお手本的存在かもしれません。

今回の 25 周年記念番組等の企画案として、今風の内容が盛り込まれ、また何年か後にふり返ります「あの頃は…」となる話題が含まれていると考えます。まだ現実の放送を拝聴前ですがそんな気がいたします。

番組審議委員になりましてから、時折ネットとの融合を話題として参りました。音声だけからネット活用で映像との融合も少しづつではありますが実現しております。

単なる記念年度の記念番組にならないような番組になりますよう祈念しております。

以上簡単ではありますが開局 25 周年記念企画に対する意見とさせていただきます。

大塚委員

開局 25 周年記念企画内容、拝見させていただきました。

SDGs については、静岡市でもこの 3 年間、啓発活動を続けてまいりました。

次は、SDG sのそれぞれの目標達成に向けて、何を行なうか？という段階、SDG sのどの目標を達成するために市の施策・事業を展開するか？という段階に入ります。各企業におかれましても、自分たちの企業活動がSDG sのどの目標を達成するためのものなのかを意識していただければと考えています。そんな中で、貴局の⑤のSDG s推進のための長尺CMが、各企業・団体の取り組みを紹介するものであれば、うれしいなと思いました。

伊藤委員

マリパル開局25周年おめでとうございます。開局以来25年はあっという間に過ぎ去ったと思いますが、担当者の努力があったからこそだと思います。マリパルは県内でも早い時期の開局で、多くのリスナーを確保したのもスタッフの取り組み姿勢だと感じています。これからも楽しみに聞かせてもらいます。

さて、記念企画ですが、①から⑥までの企画はどれも素敵な内容だと期待しています。私の考える内容は、⑥の内容にかぶりますが、これまでの多くの参加者からの声が記録されていると思います。25年の中から話題となった番組を流すと同時に、当時の参加者をスタジオに招き、昔を振替ってみてはいかがでしょうか？

小塚委員

ドリームプラザでの公開放送とマルシェは楽しそうな雰囲気を感じ、良い企画だと思います。SDG sも大変重要なテーマですので、今後も企画していただければと思います。記念誌ですが、今までの25年の歩みも大事ですが、未来に向けての事業や、テーマ等は何か具体的な内容を示していただけると良いかと思います。3年～5年後と10年後のマリパルが目指すものなど。以上宜しく願いいたします。

水野委員

開局25周年企画について以下ご報告申し上げます。
コンセプトや企画内容については、特段の異論はございません。
マリパルは、持続可能なコミュニティーエフエムとして、今後も継続していく必要があるかと思っておりますのでSDG sを掲げることは大賛成です。
この企画だけではなく、日頃からSDG sを意識していく時代にもなっていくと思います。
25周年の企画においては①マリパルの役割を聴取者に改めてお伝えしていくこと。
② 市民参加型となるような、企画を入れ込んでいくことを、お願いしたいと思います。
以上宜しく願いいたします。

<今後の特別番組>

☆静岡市議会議員選挙開票速報

3月28日(日)23:00～開票終了 ※選管開票状況により放送枠の変更有り。 4/4(日)14:00～

vs 徳島ヴォルティス、 4/7(水)19:00～ vs 浦和レッズ、

4/25(日)14:00～ vs 湘南ベルマーレ、 5/9(日)14:00～ vs 横浜FC

5/15(土)14:00～ vs 名古屋グランパス 5/26(水)19:00～ vs FC東京

6/19(土)19:00～ vs 川崎フロンターレ 7/4(日) 18:00～ vs 大分トリニータ

☆開局25周年記念特別番組「Together to Tomorrow」(仮)

6/6(日)10:00～17:00 放送予定

次回番組審議会日程 5月中旬を予定(コロナ禍の状況次第では、書面審議を予定。)

以上



開局 25 周年記念企画内容

開局 25 周年を迎えたマリパルの「これまで支えてくれた市民、クライアント、株主等ステークホルダーへの感謝」と「更なる向上を目指して社の進むべき方向性を指し示す」節目の 1 年と捉えています。この双方を表現そして伝える事を主眼とし、企画しました。コンセプトは、**感謝&SDGs(持続可能な開発目標)** です。具体的な企画内容です。

① 「Thanksgiving Fes」の開催 6/6(日)

エスパルスドリームプラザのセントラルスクエアで、これまで支えてくれた番組出演者や番組関係者等によるステージとマルシェで、支援を頂いた市民やクライアントへの感謝を込めたイベントを実施。コロナ対策を取りながら開催する。

②開局特別番組「Together To Tomorrow」(仮) 6/6(日)10:00~17:00 放送予定

上記の「Thanksgiving Fes」会場からの様子を交えながら、マリパルの歩みと今後より市民に親しまれる放送局を目指しての SDGs への理解醸成を促す内容とする。

地元子どもたちや企業の SDGs への取り組みや日本で先進的な取り組みをしている行政や企業を紹介。

ゲスト MC は田中章義さん（現代歌人・元国連親善大使、静岡市出身）。田中さんから見た SDGs の必要性と課題、社会変革の齎す未来等について伝えていきます。

③マリパルイメージソング制作 6月～番組等で放送

マリパルが培ってきたイメージや将来に向けての姿勢を楽曲として表現し、6月～各番組を通して周知を図る。2月に市民からイメージワードを募集し、そのワードを活かした楽曲を若者に人気の Jam9 が制作。上記の「Thanksgiving Fes」会場でお披露目し、その後周知を図ります。

④マリパルスタッフによる「感謝の花束」～You Tube チャンネルで6月～公開～

6月～公開で作業中。マリパルスタッフによるMV。

⑤SDGs 推進の為の長尺CM 6月～

地元子どもたちの小さな SDGs、地域の SDGs などを Jam9 制作のイメージソングと共に 60 秒の長尺 CM を来年 3 月までの期間で放送。SDGs の啓蒙に繋げていきます。

⑥開局 25 周年記念誌「エフエムしみずの歩み」 5月頃発行

1996 年 6 月 2 日に開局したエフエムしみずの歩みを纏めた記念誌。コミュニティ FM 局開局に向けた構想と機運、開局してから 25 年の歩み、また、番組の歩み、技術革新の歩み、未来に向けての 4 部で構成。

以上